

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションデザイン演習 I Fashion Design Seminar I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(なし)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
ファッションデザイン演習 I では、服飾造形の基礎を学習する。平面製図法、立体裁断でパターンを製作できる基礎知識を習得する。各自の体型に合わせたスカートやパンツ（ボトム）、ブラウス（トップ）のデザイン、パターンメイキング、縫製までの衣服設計の基礎を習得する。また、人体計測法、衣服製作に必要な用具の名称や使用方法、素材の扱い方、アイロンやミシンの使い方などの基礎知識について学ぶ。				
授業の目標				
①衣服造形の基礎(人体計測法、設計法、補正法、製作法)を理解できるようにする。 ②下半身原型、スカート、パンツの製図ができ製作できるようにする。、上半身原型シャツブラウスを製作できるようにする。				
授業の方法				
演習形式。作品製作で衣裳デザイン設計・製作の実践力の習得を図る。				
学習の成果（学習成果）				
①人体計測法、平面製図法、型紙作成、裁断、縫製、仕上げの一連の流れを実践できる。 ②衣服製作に必要な用具を正しく使うことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション、15回の授業内容について説明する。用具の使い方を説明し実習する。人体計測を行い、各自の採寸表を作成する。			
第2回目	下半身原型製図①：スカートの原型作成。（平面・立体）			
第3回目	下半身原型製図②：スカート原型の応用。パターン展開解説。			
第4回目	下半身原型製図③：スカート原型の身体への適合性解説。			
第5回目	下半身原型製図④：スカートパターンの展開、応用。シーチングで製作。			
第6回目	下半身原型製図⑤：スカートトワル製作。（完成物提出）（レポート提出）			

第7回目	上半身原型製図⑥： 上半身原型の理論と展開、補正法の解説。
第8回目	原型の応用「シャツブラウス」製図①： シャツブラウスの種類と名称についての解説。後ろ身頃を作図する。
第9回目	原型の応用「シャツブラウス」製図②： 前身頃を作図する。
第10回目	原型の応用「シャツブラウス」製図③： 袖原型を基に、デザイン展開する。型紙作製。シャツブラウス補正法の解説。
第11回目	原型の応用「シャツブラウス」裁断：布の地直しをする。型紙どおりに布を裁断する。
第12回目	原型の応用「シャツブラウス」縫製①・身頃：縫代にロックミシンをかけて本縫いの準備をする。ブラウスの身頃を縫い合わせ、裾を始末する。身頃に見返しをつける。
第13回目	原型の応用「シャツブラウス」縫製②・見返し：見返しを作り、身頃と縫い合わせる。
第14回目	原型の応用「シャツブラウス」縫製③・袖付け：袖を作り、身頃につける。縫代の始末をする。
第15回目	原型の応用「シャツブラウス」仕上げ、まとめ：上前にボタンホールを作り、ボタンを付ける。アイロンをかけ、仕上げる。講評。レポート作成(シャツブラウス)。

#### 成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく、積極的に授業に参加している。
レポート	20%	工程、方法について、適切にまとまっている。創意工夫がされている。期限内に提出されているか評価する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	10%	着装評価について、適切に発表できているか評価する。
その他	40%	作品が説明通りに仕上がり、完成度の高いものになっている。作品を期限内に仕上げている。

#### 教科書と参考図書

教科書：中屋典子・三吉満智子 監修 『服装造形学 技術編Ⅰ』 文化出版局、三吉満智子 監修 『服装造形学 理論編Ⅰ』 文化出版局  
 参考書：佐藤貴美枝 『アイテム別部分縫い集vol.2 ブラウス&ワンピース編』

#### 履修上の留意点・ルール

演習授業の為、欠席・遅刻を認めない。材料費(布、副資材、ファイル等)は自己負担とする。忘れ物、飲食、私語、携帯電話の使用を禁ずる。